

令和5年度あいちラーニング推進事業
合同成果発表会

愛知県立春日井南高等学校

～学校全体で取り組む持続可能な授業づくり～

ICT機器の使用状況

項目	内容
本校が使用した 学習支援システム	Microsoft系 (Teams, Forms) ロイロノート
その他、各教科等で使用し たアプリケーション等	特になし
B Y O Dの使用の有無	無

1. 「協働的な学び」と「個別最適な学び」
の一体的な充実など
「授業カイゼン」全般
における成果

本事業2年目における本校の課題

【昨年度反省より】

「意識」の変化は認められるが
「実践」につながっていない

担当者の研究仮説（本校の場合）

主管校最終年度（今後に向けて）

本校における授業カイゼンのスピードと持続力アップには次のような取組が有効ではないか。

- 「実践」を促す仕組みづくり → スピード
- 本校の実情の把握 → 持続力

本年度研究目標等

- ・研究テーマ

主体的に学び続ける生徒の育成を目指した授業づくり

- ・研究目標

(1)「主体的・対話的で深い学び」を推進する授業実践

(2)研究成果の継続的な活用が可能となるような校内体

制の構築

※ I C T 活用 …(1)に包含することとした。

挑戦のきっかけづくり（協議週間）

「協議週間」（6月、11月）を1週間程度設け、全HR教室の生徒座席を終日「協議型式」で固定する。



仮説：「実践」を促す仕組みづくり

職員アンケート（6月）

- 今回の取組の目標は「挑戦のきっかけとすること」でしたが、いかがでしたか。

自身が授業カイゼンに挑戦するきっかけとなった	7
学校全体での授業カイゼンのきっかけとなった	3
取組の目標は十分に達成できたとはいえない	4

（全教諭61名中 回答21名）

ちなみに

日直日誌より（原文ママ）

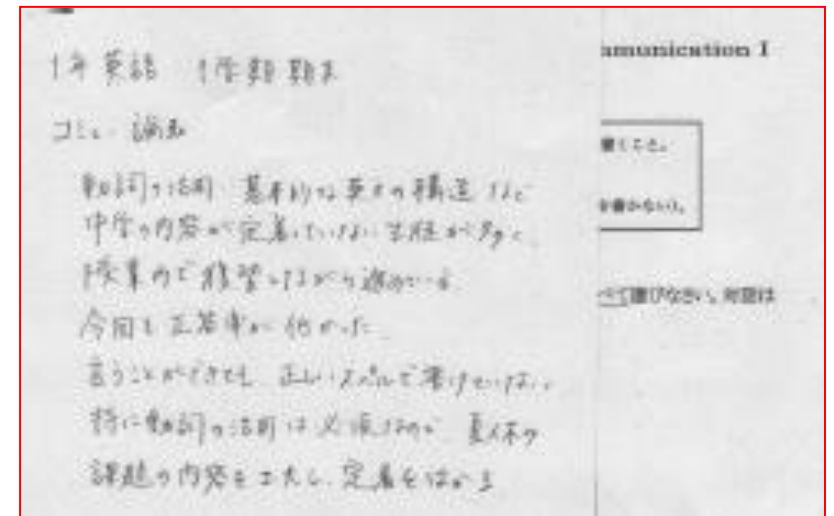
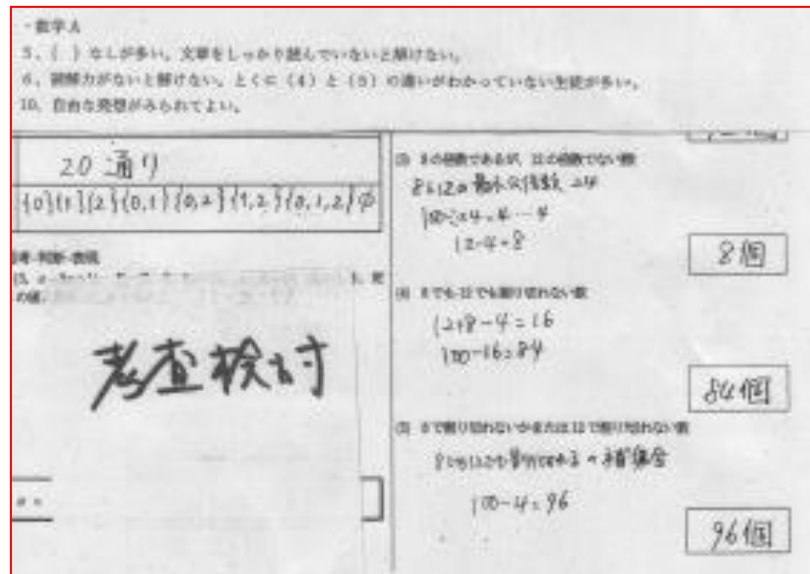
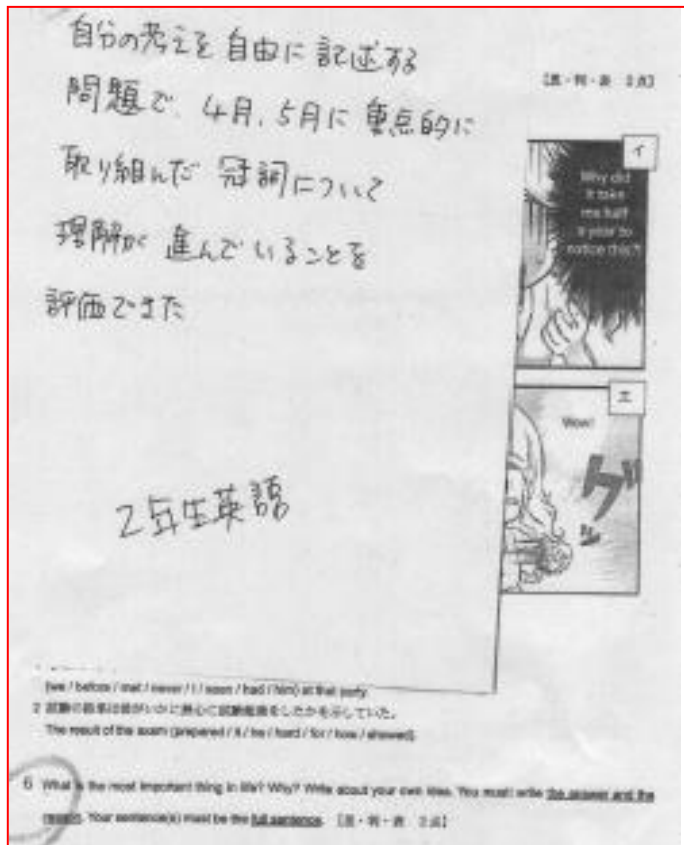
2年生：「はなしあいできておもしろかった」

2年生：「物理の授業は、今の席だとやりやすい。質問とかしやすいです。」

3年生：「班の形での授業はとても楽しいですが水曜日あたりになると席をもとにもどさないといけないのでとてもさびしいです。」

★留意点もあります

教科会の活用① (考査分析：指導と評価の一体化)



仮説：「実践」を促す仕組みづくり


教科会の活用②

(公開授業：教員の協働、
授業コンテンツの共有)

- ・ 授業案は教科会で作成
- ・ 参観メモ (参考資料)
- ・ 研究協議 (授業づくり)

仮説：「実践」を促す仕組み



A photograph of several teachers sitting around a table in a meeting room, discussing documents. They are wearing face masks. The room has bookshelves and a window with blinds in the background.

2023年度
愛知ラーニング授業研究
愛知県立春日井南高校
～社会科編～

職員アンケート（11月）

- 今回の取組の目標は「教員の協働、授業コンテンツの共有」でしたが、いかがでしたか。

目標は達成された	17
目標が達成されたとはいえない	0

（全教諭61名中 回答23名）

- 今回の取組が授業カイゼンのきっかけとなりましたか。

自身の授業カイゼンのきっかけとなった	15
学校全体での授業カイゼンのきっかけとなった	7

（全教諭61名中 回答23名）

先進校訪問

- 福井県立敦賀高等学校
(ICT活用、探究活動、考査全廃)
- 奈良県立奈良北高等学校
(高大接続、SSH、中間考査廃止)
- 滋賀県立虎姫高等学校
(バカロレア認定校)



2. 「協働的な学び」と「個別最適な学び」 の一体的な充実などにむけた

本校における「授業カイゼン」
来年度以降のデザイン

本校の生徒のようす

○通学区域…春日井市 7 割（近隣中学校出身生徒が大多数）

○昨年度進路実績

国公立大学…1割 私立大学…7割

○学校行事

文化祭…生徒による自主的な運用が可能

体育祭…生徒による自主的な運用が可能

○部活動

運動部…6割

文化部…3割

本校のスクール・ポリシー

1 目指す生徒像

- 主体的に学ぶ、探究心に富んだ創造力豊かな生徒
- 将来を見通し、自ら進路を選択できる生徒
- お互いの人格を尊重し、他者と協調・協働できる生徒
- 伝統文化を大切にし、豊かな人間性を持った生徒

2 本校における学び

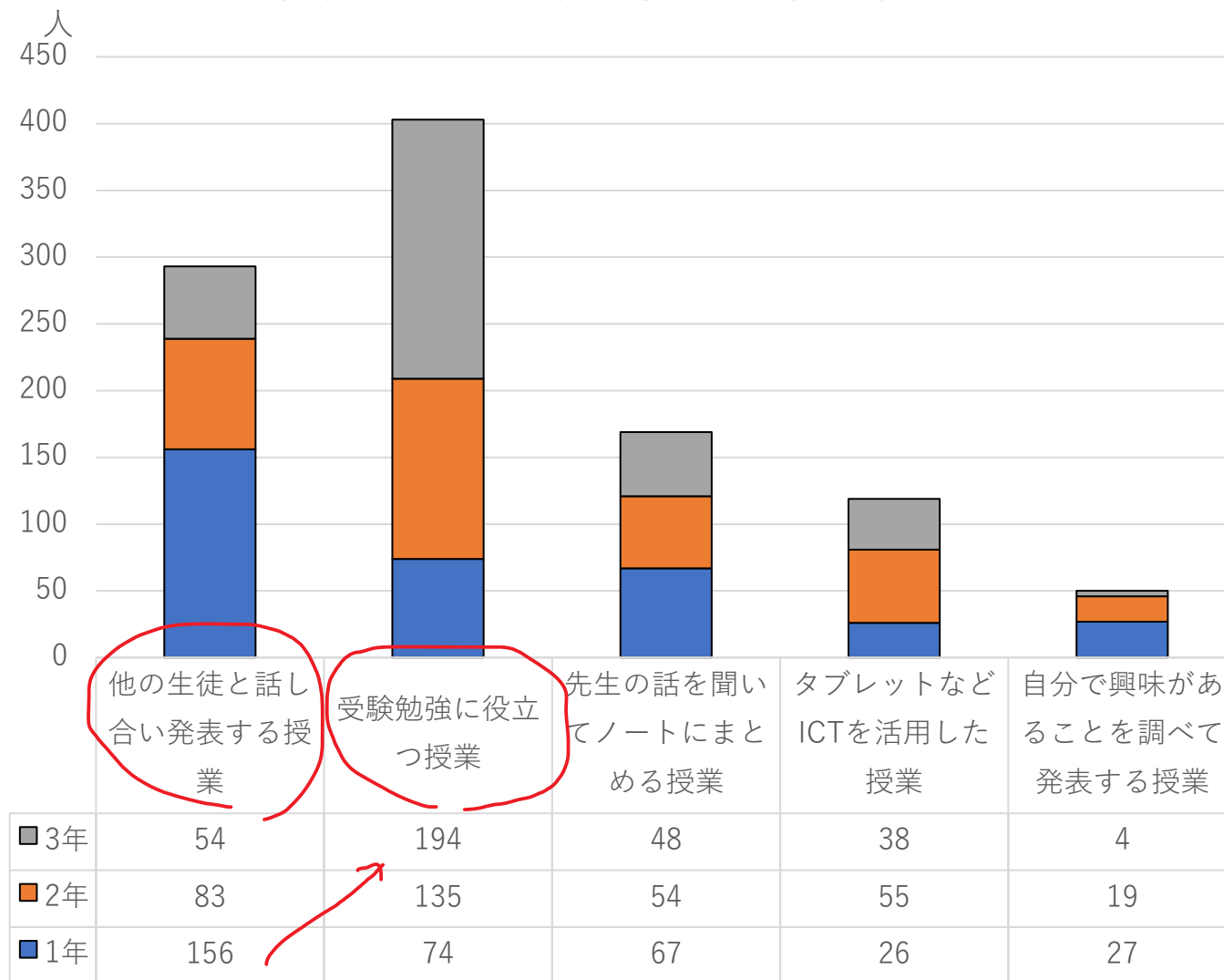
- 基礎基本を重視し、多様な進路目標に対応した教育課程の実施
- キャリア教育の視点を踏まえた進路目標の設定と実行
- 仲間を尊重し、協力して作り上げる学校行事の実施
- 教育活動全般を通じての将来社会で有為な人材となるべき資質の育成

生徒アンケート の実施

全生徒を対象にアンケートを実施

【要検討】
学年によるニーズの差

自分にとって有意義な授業の形式は？

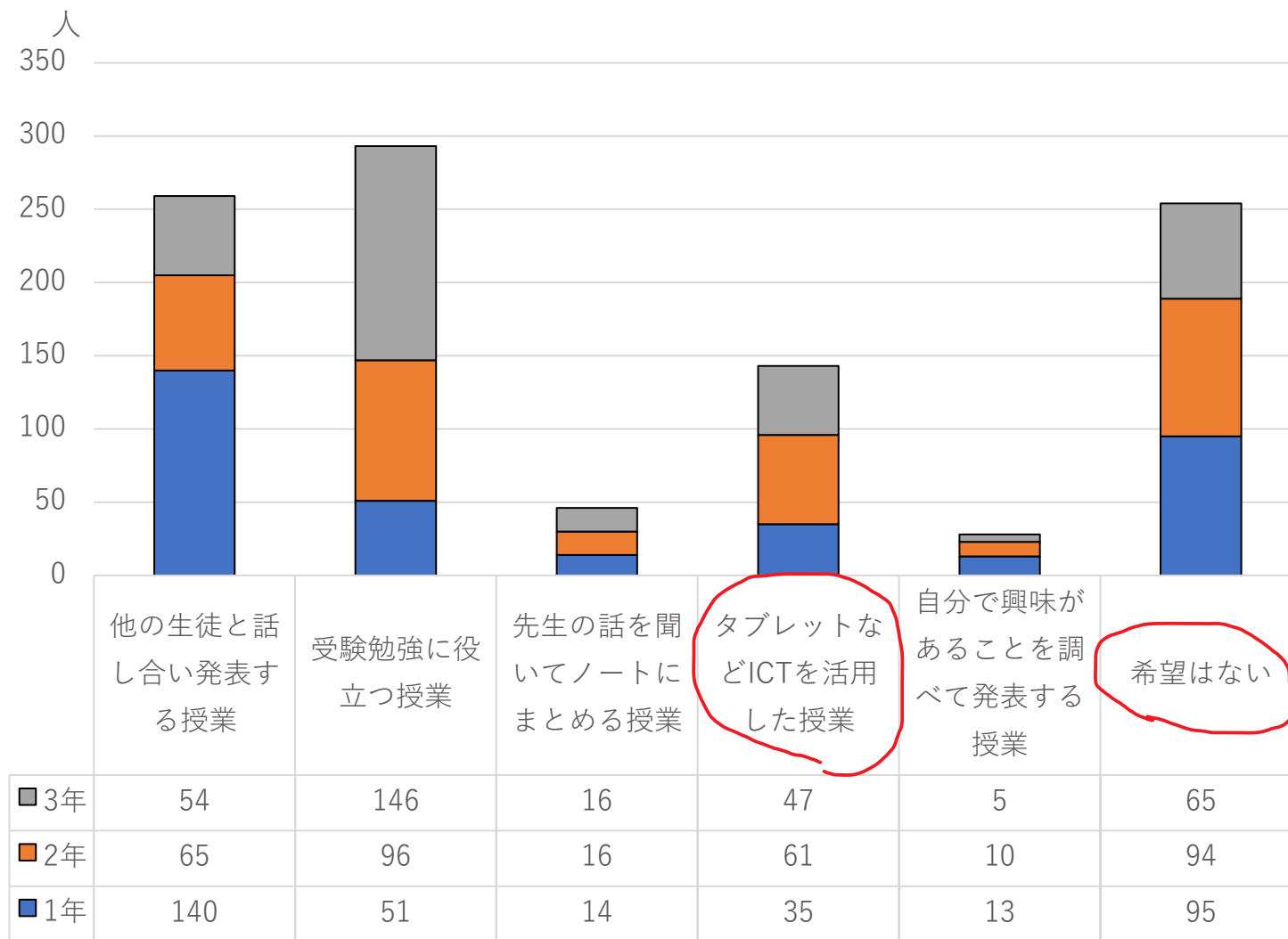


仮説：本校の実情の把握

生徒アンケート の実施

【要検討】
本校の課題

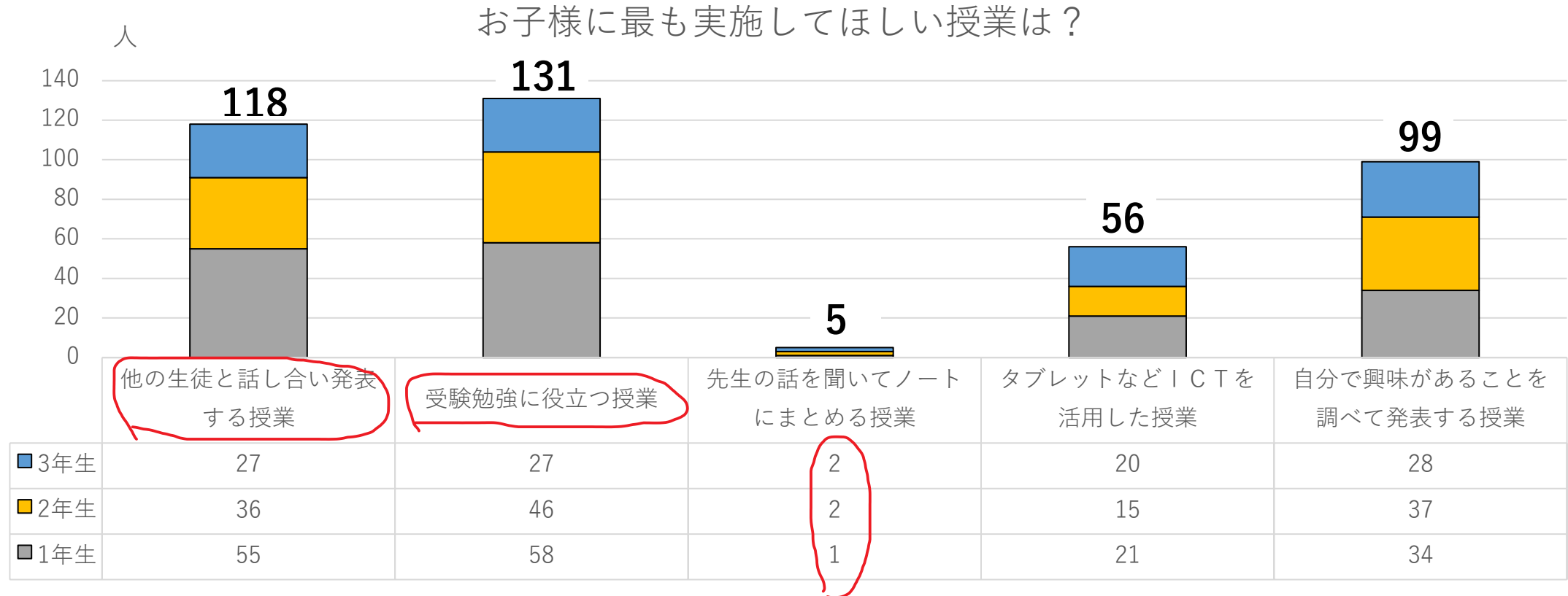
どんな形式の授業を増やしてほしい？



仮説：本校の実情の把握

保護者アンケートの実施

- ・ 1週間実施（きずなネット配信・フォームズ回答）
- ・ 4割（約400人）の保護者が回答（任意）



仮説：本校の実情の把握

「社会人基礎力」 (経済産業省HPより抜粋)

経済産業省が主催した有識者会議により、**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(= 3つの能力・12の能力要素)」**として定義。

前に踏み出す力 (アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

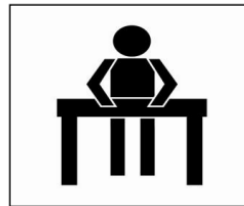
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

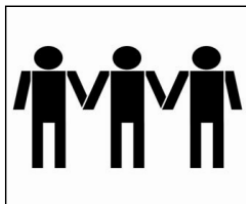
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

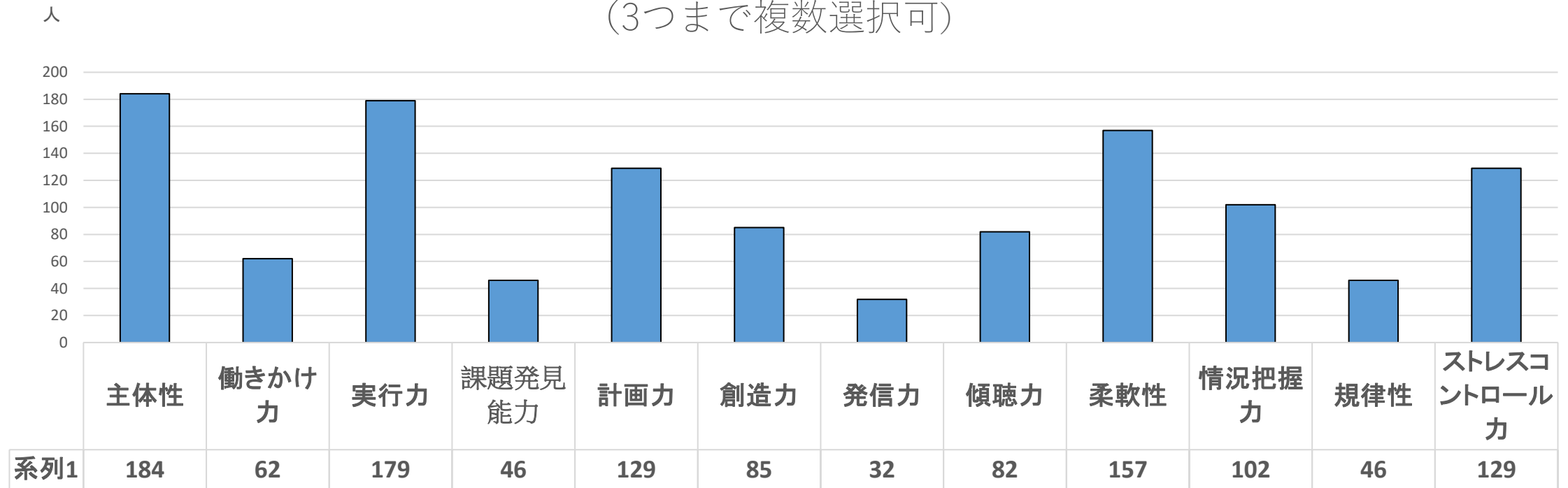
ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

保護者アンケートの実施

- ・ 1週間実施（きずなネット配信・フォームズ回答）
- ・ 4割（400人）の保護者が回答（任意）

お子様に高校時代に身につけてほしい資質・能力
(3つまで複数選択可)



仮説：本校の実情の把握

生徒の自己分析 (3年生抽出)

社会人基礎力を5段階で自己評価 (「5・4」評価人数 - 「1・2」評価人数)



【要検討】

保護者アンケートとの差

主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
10	-16	4	-17	-10	-2	-27	25	15	33	38	16

仮説：本校の実情の把握

「教科ミッション」策定

「春日井南高校 教科ミッション」（案）

授業や考査、課題などの諸活動を学校全体でマネジメントする際の考え方としてはどうか。
 今回の考査実施検討の結果を保護者、生徒に示す際の資料とすることも考えられる。

全て重要であるが、各教科で分担するという

	1年生			2年生			3年生			
国語	主体性			主体性			主体性			
地公	主体性	課題発見力	実行力	主体性	課題発見力	発信力	主体性	働きかけ力	創造力	実行力
数学	主体性	働きかけ力		主体性	働きかけ力		主体性			
理科	主体性			主体性			主体性			
保体	主体性	規律性	ストレスコントロール力	主体性	計画力	ストレスコントロール力	主体性	実行力	創造力	発信力
英語	主体性			主体性			主体性			
芸術	主体性	創造力					主体性	創造力		
家庭	主体性			主体性			主体性			
英語	主体性	傾聴力	発信力	主体性			主体性			
情報				主体性	実行力	状況把握力	主体性			
生徒会活動	主体性	課題発見力	実行力	主体性	課題発見力	計画力	主体性	創造力	発信力	働きかけ力
学校行事	主体性	課題発見力	実行力	主体性	課題発見力	発信力	主体性	創造力	傾聴力	働きかけ力
探究	主体性	課題発見力	働きかけ力	主体性	課題発見力	実行力	主体性	発信力		
HR活動	チームワークの諸要素			チームワークの諸要素			チームワークの諸要素			
学年	HR活動に関連付け設定			HR活動に関連付け設定			HR活動に関連付け設定			
課外活動	各部活動で設定			各部活動で設定			各部活動で設定			

前に踏み出す力（アクション）	主体性	働きかけ力	実行力
考え抜く力（シンキング）	課題発見力	計画力	創造力

太枠部分を各教科で分担

チームで働く力（チームワーク）	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力
	規律性	ストレスコントロール力		

太枠以外を学年や総合で育成

研究 成果

- 「実践」を促す仕組みづくりはできたものの「実践」はまだまだ進んでいない。
- 本校の実情は把握でき、来年度以降の見通しが立てられた。
(「教科ミッション」をもとにカリキュラム
マネージメント→授業カイゼンの継続)

ご清聴ありがとうございました。

